

第1回室蘭市子ども・子育て会議会議録

- 1 開催日時 平成25年12月13日(金)午後6時~午後7時25分
- 2 開催場所 室蘭市議会第1会議室
- 3 出席委員 澤田(乃)委員 小笠原委員 小椋委員 吉田委員 伊藤委員 今井委員
小倉委員 岡垣委員 山田委員 鈴木委員 小鷹委員 澤田(宏)委員
出席職員 青山市長 國枝保健福祉部長 弘瀬子育て支援課長 高橋(子育て相談・保
育所統括)主幹 星(次世代・母子児童相談)主幹 佐藤保育係長 本吉母子
児童係長 松尾主任 沼山主任
傍聴者 なし

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 市長挨拶
- (4) 自己紹介
- (5) 会長・副会長選出
- (6) 議事
子ども・子育て支援制度について
子育て支援の現状について
ニーズ調査の実施について
今後のスケジュールについて
- (7) その他
- (8) 閉会

5 配布資料

- ・室蘭市子ども・子育て会議委員名簿
- ・室蘭市子ども・子育て条例
- ・審議会等の会議の公開に関する指針
- ・審議会等の会議の傍聴に関する指針
- ・子ども・子育て関連3法について 資料1
- ・子育て支援の現状について 資料2
- ・ニーズ調査の実施について 資料3
- ・アンケート調査票(就学前児童のいる世帯) 資料4
- ・アンケート調査票(小学生のいる世帯) 資料5
- ・子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール 資料6

事務局 皆様こんばんは。本日はお忙しい中、また、悪天候の中ご出席いただきありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より、第1回室蘭市子ども・子育て会議を開催いたします。初めに、委嘱状の交付を行います。

委嘱状交付

事務局 続きまして、市長より挨拶を申し上げます。

市長 皆様、こんばんは。大変悪天候の中、また、白鳥大橋が通行止めに伴って市内大変交通渋滞をしている中、このように皆様がたにお集まりいただき、まずもって感謝と御礼を申し上げます。

また、日頃より、本市行政運営、市政運営につきまして、格別なご理解をいただいておりますことをこの場をお借りしまして御礼を申し上げる次第でございます。

本日ここに、第1回室蘭市子ども・子育て会議を開催する運びとなりましたが、皆様には委員就任にご快諾をいただきましたこと、誠にありがとうございます。また、子育て中の保護者の方を対象に委員を公募させていただきましたところ、7名の応募がありまして、選考により、ここにおいでの方の3名の方をお願いすることとなりました。委員16名の皆様による構成でスタートさせていただきたく存じます。

さて、子育てを取り巻く環境は、時代の流れとともに大きく変化してきておりますが、少子化が進行する中、一方では待機児童が都市部を中心に増加をしていること、国においては、これらの諸課題に対応するため、幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大、地域の子ども・子育ての充実を趣旨とした、子ども・子育て関連3法が昨年8月に成立しまして、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度が開始される運びとなっております。

これを受けまして、本市としましても新制度の実施に向け、室蘭市子ども・子育て会議条例が9月議会において議決され、本日、条例が施行され、室蘭市子ども・子育て会議を設置したところであります。ただ今、辞令を皆様に交付をさせていただきましたが、当面の取り組みとしましては、子ども・子育て支援事業計画の策定になる訳ですが、この計画策定にあたりまして、皆様方からは、それぞれのお立場からのご意見をいただきまして、本市の実態に即したご提案をいただけるものと期待しているところでございます。

終わりに、子どもを持つ家庭が安心して子育てができるように、そして室蘭で生まれ育つ子どもたちの幸せのために、委員の皆様方のご協力をお願いしまして、冒頭の私の挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

事務局 次に、委員の皆様のご自己紹介をお願いします。澤田委員から時計回りでお願いします。

順次自己紹介

事務局 次に、事務局職員の自己紹介を行います。

事務局職員自己紹介

事務局 本日は、民生委員・児童委員協議会の中村委員、港北保育所保護者会の岩本委員、小学校長会の澤田委員、公募の荒木委員が所用のため欠席されております。委員総数16名のうち、出席は12名でございます。室蘭市子ども・子育て会議条例第6条第2項におきまして、「子育て会議は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。」とされておまして、本日は定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

事務局 次に、会長、副会長の選出でございます。条例第5条におきまして、「子育て会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により選出する。」となっております。いかが取り計らいいたしましょうか。

委員 事務局の案はございますか。あれば提案をお願いします。

事務局 事務局案ということですので、腹案を提案させていただきます。会長には、学校法人北斗文化学園北海道福祉教育専門学校の澤田乃基委員に、副会長には室蘭市要保護児童対策地域協議会会長の伊藤裕司委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

意義ありません・異議なしの声複数

事務局 異議なしとの声でございますので、それでは、ご賛同をいただいたということで、澤田乃基委員に会長を、伊藤裕司委員に副会長をお願いしたいと思います。澤田委員、伊藤委員、よろしく願いいたします。それでは、会長、副会長、一言ずつご挨拶をお願いいたします。

会長 只今ご承認いただきました北海道福祉教育専門学校の澤田でございます。どうぞよろしくお願いしたいと思います。この子育てに関わる会議が本格的にですね、国の流れを受けて、室蘭市でも開催されることになってまいりました。私自身の本務であります北海道福祉教育専門学校の幼稚園教諭・保育士の養成をさせていただいております。胆振日高管内唯一の教育機関でございます。そのような立場から学識経験者ということもございまして、地域を総合的に勘案して、室蘭にとってより良い子育て環境をつくるために頑張らせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

伊藤副会長 改めまして伊藤でございます。子ども・子育てのために力を尽くし、また、会長を補佐していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、澤田会長には会長席にお移りいただきまして、これからの会議の進行をお願いいたします。

会 長 それでは、これより私のほうで会議を進めさせていただきたいと思います。議事に入る前に、「この会議の運営について」確認したいと思います。条例第9条で「この条例に定めるもののほか、子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。」とされておりますが、会議の公開や傍聴に関する会議の運営について確認したいと思います。事務局より説明をお願いします。

事務局 資料番号はありませんが、「審議会等の会議の公開に関する指針」と「審議会等の会議の傍聴に関する指針」をご覧いただきたいと思います。この会議の位置づけは、条例の定めによる市長の附属機関となり、審議会に当たります。この審議会等における会議の公開と傍聴に関し、市として指針が示されておりますので、この「子ども・子育て会議」でもこの指針を基本として運営して参りたいと考えております。会議は原則公開とし、個人の情報が含まれるとか公正な審議ができなくなるなど議事運営に支障が生ずる場合などは非公開とするものです。公開の方法として、傍聴を認めることや、会議録を公開するなどの内容となっております。また、傍聴に関する指針では、傍聴のできない者、傍聴人の守るべき事項などが示されております。また、「この指針に定めるもののほか、会議の傍聴に関し必要な事項は、会長が会議に諮って決定する。」となっております。

会 長 ただ今、公開・傍聴に関する指針の説明がありました。質問や意見はありませんか。

 質問・意見なし

会 長 基本的には、この指針に沿って運営し、必要があると判断した場合にはこの会議に諮ることよろしいですか。

 異議なし

会 長 ではそのように取り計らいたと思います。

会 長 それでは、これより議事に入ります。
(1)「子ども・子育て支援新制度について」事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1 「子ども・子育て支援新制度について」説明

会 長 只今の説明について、質問・意見はありませんか。

質問・意見なし

会 長 次に、(2) 「子育て支援の現状について」事務局より説明をお願いします。

事務局 資料 2 「子育て支援の現状について」説明

会 長 只今の説明について、質問・意見はありませんか。

質問・意見なし

会 長 次に、(3) 「ニーズ調査の実施について」事務局より説明をお願いします。

事務局 資料 3 ・ 4 ・ 5 「ニーズ調査の実施について」説明

会 長 只今の説明について、質問・意見はありませんか。

質問・意見なし

会 長 次に、(4) 「今後のスケジュールについて」事務局より説明をお願いします。

事務局 資料 6 「今後のスケジュールについて」説明

会 長 只今の説明について、質問・意見はありませんか。

質問・意見なし

会 長 ほかに何かありませんか。

なし

会 長 事務局からありませんか。

なし

委 員 色々な場面でこういうアンケートを取ってきた経験があるのですが、こういうアンケートをもらって即答えようとするお母さんはそんなにいないと思う。私の団体でも、こういうことがありますよ、協力して、自分の意見を反映するために、と若いお母さんに自分の意見をどんどん言わなければ良くなっていかないよと言うのですが、そういう働きかけをするにしてもあまりにも短い期間なんですけれども、65%の回収率とおっしゃっていたが、いつもこれくらものものなんですよね。折角こういう良い会議が始まって、若いお母さんもいらしてますから、すご

くこういう会議は良いなと思うのですが、意見を言って欲しい人は意見を出さないことが多いですね。文字を読むのが嫌いな世代ですから、これだけもらったら、え～って感じなので、その前に私たちの働きかけってというのが必要なのではと日頃から思っています。自分の意見が反映されて少しでも良くなってきた、例えばサンキッズが出来たとか、私の団体は13年になるんですが、それが最初で、そこからどんどん子育て支援の場が出来て、無料と有料の難しいものはあるが、良くなっていることが判るんですね。自分の意見が反映されているなという実感を持たせてあげなければ、若い人の意見を吸収できないのではないかと常日頃思っています。60%台ではさびしいかなと思う。もっともっと100%に近いものが、室蘭に子どもってあまりいませんから、そんな状況を作っていかなければだめではないかと思う。この膨大な資料をいただいて、一応読んでみました。中々意見は出ないのではないか。急いでいるのはこのアンケートだと思うのですが、それに関してそれぞれが、幼稚園の先生は幼稚園の先生でこういうことがありますよと、協力しないとだめですよとお母さんを変えていくというか、今の人はほんとに字は読みません。新聞もとっていません。何か掲示版に貼ってもわざわざ言って、説明してあげる時代になっている。折角機会ですから、もう少しどなたからの意見もあったほうが良いと私はそう思っています。

会 長 ありがとうございます。確かにこのタイトな国のスケジュールの中、全国の自治体は計画を策定していかなければならないという時間的な制約があるのですが、確かにおっしゃる通りで、養成校の立場からみても、学生は文字を読むことを敬遠する。スマートフォン世代というのでしょうか、視覚的に訴えられるものから入ってくるという時代であることは間違いのないと思うのですが、何かこういったところで、市側として、小学校を通して回答を促すとか、幼稚園や保育所にも促すというようなことは考えていないのでしょうか。

事務局 今ご意見がありました。まさにそのとおりでございます。回収率65%を想定しているわけですが、前次世代の前期計画と後期計画がありましたが、前期計画策定のときは50%、後期のときは63%で、それを下回ることがないようにと65%の目標とした。実際はもっともっと回収率が上がれば上がるほど精度が高まるものです。方法論として、小学生であれば配布について学校の協力を得るので、そこで担任の先生から配布するときに提出を促す、時間的なものがあり郵送にはなってしまうのですが。保育所については、直接保護者の方に手渡すことになりまして、冬休みがございませんので、回収も保育所でということになります。就学前の無作為抽出者については、時間的なこともあり郵送で配布・回収となりますが、市としても回収率が上がる方法で考えている。

市 長 私からも補足でよろしいですか。ご指摘ごもっとも思っている。事務局のほうから若干控えめに65%としているが、このたぐいのアンケート調査は、ご案内をしたみなさん100%の回収率をもって取り組むことが基本でして、若干控えめで反省している。冒頭にご挨拶を申し上げれば良かったが、室蘭市としても

平成26年度に向けた予算編成作業にあたっては、本日ご参会の皆様の中にも、enとくや様々な機会を通して、子育て支援施策について今までもご意見を頂いているところで、少しでも可能な限り予算編成に反映したく、今作業をしているところであります。このアンケート調査については、今年度末、1月末でしょうか、来年度予算に反映できないものもあろうかと思いますが、すぐにできてきた回答を参考にしながら、色々と調整の中で使うことがある、採用させていただくことができるのかなと思っています。加えて27年度に向けた予算、また、新制度に向けた取り組みになりますことから、様々な機会を通して、ご案内の周知と送付をする際に私からも今話したことを踏まえ、メッセージを添えて、ご案内をさせていただきたいと思っています。限られた時間でありますから、できることは限られておりますが、少しでも皆様方から回答を促すように、取り組みについて対応していきたいと考えています。

会 長 市長さん、本当にありがとうございます。事務局のほうからも、市長さんのほうから力強い言葉を賜っておりますが、本当に時間のないところで進むのもこれはしょうがないところであります。次年度も会が設けられますし、今回室蘭市は公募のお母様方がこのように多く参画されておりますので、そういう生の声を反映しやすいのではないのでしょうか。他の自治体を見ていますが、公募の方がいらっしゃってもこのような数はいない。室蘭市はむしろ公募の委員の方を多く積極的に採用している。このような会議の席で生の声を、我々も委員が主体的に新制度の子育てを考えて進めていくということではいかがかと思いますが、いかがでしょうか皆さま。

委 員 今回のアンケートですが、どういう作り込みをするかということもありますが、やはり表紙を見た瞬間に、ズラズラズラと字があると、まず絶対に引いてしまう。そういった構成も含めて工夫する必要があるのではないかと。例えば記入にあたってのお願いは簡単でいい訳で、本当に市が訴えたい、今言った市長のコメントが、こういう文字の大きさではなく、大きい文字で分かりやすく、1ページ目というのはすごく印象が強いと思いますので、本当に必要なことだけ、本当に出して欲しいことを考えると、表紙がすごく大事になるのではないかと思いますので、是非その辺の工夫もお願いしたいと思います。

委 員 一つ確認ですが、このアンケート調査の調査範囲をもう一度教えていただけますか。こういったところにアンケートを配るのか、対象は。

事務局 資料3のところですが、抽出方法ですが、就学前児童につきましては、無作為に抽出して郵送。保育所については地域バランスを考えて保育所を選び、保育所を通して配布・回収となります。小学生につきましても、保育所と同じように、同じ地区が固まらないように、地域バランスを考え施設を選び、学校を通して配布し郵送で回収としております。

委員 ありがとうございます。

会長 よろしいでしょうか。

委員 はい。

委員 今の続きですが、小学校の場合、クラス全員ではなく誰々君と言うことになるのでしょうか。

事務局 具体的なことになりますが、クラス全員になります。選んで誰々さんとなるわけではない。その学校全員の1年生から6年生まで全員になります。保育所も同じことになります。

委員 就学前児童のいる世帯というのは、例えば0才とか1才とか2才とかになりますよね。そうすると多分今の若いお母さんは、次世代育成支援行動計画というのは、漢字をみても何のことだか難しいような気がする。もっと分かりやすい言葉で、若いお母さんたちは漢字を見てしまうと、多分読まない気がする。

委員 字だけではなく、イラストを入れるとか、マンガ調ではないけれども、色を入れたりするとか。まず読まない。そのままになってしまうかなと思う。

委員 確かに字ばかりでは、必須項目というものはやらなければならないが、保育所でアンケートをやっても、項目が多くなればなるほど答え難くなる。その辺も加味していただけると、回答する人も回答しやすいのかなと思う。

会長 かなりびっしり書いてあるというところで、お母さん方が引いてしまうのではというご意見があったわけですが、市長さんからのメッセージも含めて何らかの工夫を再度市のほうでご検討いただけたらと思います。

委員 封筒にも「皆さんの声待ってます。」のようなことがあると、頑張っって出そうかなと思えるのではないか。「市役所です。」とこういうので郵送されると、小さい子がいると24時間忙しくて、それだけでも大変。読んで楽しくなるようなものだの良いのでは。

事務局 必ず使わなければならない言葉とかがありますけれども、工夫を凝らして、開けてみようと思うような、また、自分の意見を書いてみようと思ってもらえるように工夫をさせてもらいたい。

委員 例えばこの左側の「元気に育て！子ども、親、地域がささえあうまち むろらん」とかを出すと、ひらがなは柔らかく受け入れやすいのでは。

委員 これだけのボリュームがあると、国勢調査のような感じがある。

会長 ひと工夫をよろしくお願いします。

委員 カラフルなほうがいいと思います。先程、お母さんたちの意見があったように、「あなたの意見を待ってますよ。」というものを最初に入れてもらうのは良いと思う。その後押しは、うちに来ているお母さんたちに、「もし来たら一生懸命書いてね。」と後押しはできます。

会長 市のほうは入りやすいような工夫をよろしくお願いします。ここにいる方は各関係機関の方ですので、アンケートが届いた時には、積極的に働きかけていただくようよろしくお願ひしたいと思います。いかがでしょうか。ほかに何かありませんか。

委員 こういう会議は報告事項になりがちな会議が多い。保護者のお母さん方が発言しやすいようにお願ひしたい。

委員 これは第1回目ですし、これだけのボリュームのあるものは事務的に進めていかないと際限なく時間がかかってしまう。理解してもらうためにも、第1回目ですからこういう感じでいくのかなと。あと、家に帰ってよく解読するというところで、次からの会議の中で色々な意見を出すことで良いのではないのでしょうか。

会長 第1回目ですし、室蘭市の次世代を担う子どもたちの重要な会議であります。そのようなことを考えながら、厳粛な中にも意見の出しやすい雰囲気を考えているところです。

委員 よろしくお願いします。

会長 他に何かございませんか。事務局のほうもよろしいでしょうか。
ないようですので、これで本日の会議を終了いたします。長時間に渡りありがとうございました。